

令和7年度 河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(河川生態) 研究開発テーマ
＜一般研究:移行評価結果＞

テーマおよび概要		研究代表者名	評価	審議結果
テーマ	徳島県吉野川の流域治水における農地の活用と生物多様性保全に関する環境防災学研究	徳島大学 鎌田 磨人	b	令和7年度一般研究として採択する。
概要	吉野川流域での環境と防災の両立を目指し、(1)生物相と氾濫状態との関係性評価とシナジー効果として、氾濫環境を指標する生物種群の潜在的ハビタット地図を作成し、農地の立地類型地図とオーバーレイすることで、流域景観レベルでのハビタット多様性を見出。これを基に、各ハビタット内で現地調査を行い、農法等の水管理とも関連づけながら種の存在様式を把握する。(2) 流域の水管理のあり方に関する研究として、コウノトリ保全活動が行われている吉野川下流域(鳴門市)、田んぼタムの活動が行われている中流域(美馬市)での水管理と活用の歴史的な背景を把握しながら、これら自律的活動を支えるインセンティブを浮かび上がらせることで、流域ガバナンスのあり方を検討する。			

- 評価の凡例
- a: 研究目的は達成された十分な研究成果であった
 - b: 研究目的は概ね達成された研究成果であった
 - c: 一定の研究成果であった
 - d: 研究成果があったとはいえない